

会 議 録 (1)

会議の名称	令和2年度 第2回飯能市立博物館協議会
開催日時	令和2年11月17日(火) 午前10時00分から11時20分
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	栗原慶子
出席委員	中井健一 岩崎 隆 栗原慶子 小槻成克 杉田和美 岸やよい 野村正弘 馬場憲一 平良宣子
欠席委員	井上淳治
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	博物館長 尾崎泰弘 主査 引間隆文 主任 長谷川裕子 主任 金澤花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過)・決定事項

議事

- (1) 令和2年度の事業報告について
 - ・資料1、参考資料に基づいて説明した。
- (2) 令和3年度主要な事業計画(案)について
 - ・資料2に基づいて説明した。
- (3) 博物館評価(案)について
 - ・資料「飯能市立博物館ミッションと教育基本計画の項目対応表」に基づいて説明した。
- (4) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午前10時00分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、井上委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和2年度第2回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p> <p>それでは開会に際しまして会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>2 あいさつ</p> <p>おはようございます。今年は新型コロナウイルス感染症の影響などもありますが、制限がある中でも前向きに発展していけるのは良いことだと思います。今日も色々な意見をいただきながら進めていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>続きまして館長からご挨拶申し上げます。</p>
館長	<p>おはようございます。本日はお忙しいところご参集くださいましてありがとうございます。本日は例年の内容に加えて博物館評価についての議事もございますので、ご審議の方をよろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>ありがとうございました。本日は傍聴希望者がおりませんでしたので、これより議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第15条第1項の規定により、会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>3 協議事項</p> <p>それではしばらくの間、議事の進行を務めさせていただきます。</p> <p>では早速ですが、議事の「(1) 令和2年度の事業報告について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
館長	<p>(1) 令和2年度事業報告について</p> <p>それでは議題「(1) 令和2年度の事業報告について」説明いたします。</p> <p>(資料1および参考資料に基づいて説明)</p>
議長	<p>ただ今の件について質疑等はございますか。</p>

委員	館報第2号と特別展「山里に咲いた芸」展示図録の奥付を見たところ、館報は元号のみが記載され、図録には元号と西暦の両方が入っています。元号だけの記載では一見していつ頃の物なのかわかりにくいこともありますので、できれば元号と西暦の両方を入れていただきたいです。
館長	次号以降、ご指摘の通りにいたします。
議長	他に何か質疑等はございますか。 (なしの声あり)
議長	なしと認めます。次に「(2) 令和3年度主要な事業計画(案)について」に進みたいと思います。では事務局から説明をお願いします。
館長	それでは「(2) 令和3年度主要な事業計画(案)について」ご説明いたします。 (資料2に基づいて説明)
議長	ただ今の件について何か質問等はございますか。
委員	新型コロナウイルス感染症が中々収まらない中で、現在大学の授業などはどのように行っているのでしょうか。
委員	大学では、現在は小規模な授業のみ対面という形をとっています。ただし、主な授業は全てオンラインであり、これは来年度も変わらなさそうです。 この先、コンタクトレスの流れは変わらないだろうと言われています。先ほど社会科研究展の発表でタブレットを使ったものがあったとの報告がありましたが、まさにこれはコンタクトレスに繋がるものだと思います。デジタル化はインターネットとも切っても切れない関係にありますので、デジタル化が進むことによってより多くの人へ情報を届けることが可能になります。私自身まだ具体的な構想があるわけではありませんが、博物館も今後は展示や事業にコンタクトレスを組み込んでいくことは避けて通れないだろうと思います。
議長	他に何か質疑等はございますか。
委員	新型コロナウイルス感染症の影響に関連して、小学3年生社会科見学対応は今後どのように対応していくのか決まっているのでしょうか。また、来年は大河ドラマで渋沢栄一をやりますが、渋沢栄一とも関りが深い出来事として飯能市では飯能戦争があると思います。飯能戦争について、何かPRできるようなことをする予定はあるのでしょうか。

館長	<p>小学3年生社会科見学対応については、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら今年度は実施する予定です。しかし、火のし・炭火アイロン体験についてはアルコール消毒を実施している間はできないと考え、取りやめました。関連事業として毎年開催している体験イベントも、今年度は石臼の体験会を午前のみ開催することとしました。</p> <p>来年度の大河ドラマに関わる事業としては、埼玉県立歴史と民俗の博物館がNHKと協力して開催する特別展に、当館からも渋沢平九郎の陣笠などの資料を貸し出す予定です。当館の事業としては、飯能戦争のパネル展や振武軍に関わる現地見学会などを考えています。ほかにも、奥むさし飯能観光協会で実施している飯能戦争関連のツアーに当館も協力しています。また、同会で作成した動画にも出演しています。観光・エコツーリズム推進課などとも協力して事業を進めていければと考えています。</p>
議長	<p>飯能戦争は身近なことなので、みんな興味があるのではないかと思います。</p>
委員	<p>奥むさし飯能観光協会では平九郎饅頭を復活させようという動きがあるようです。</p>
委員	<p>先ほど言っていた動画は、私たちも見られるのでしょうか。</p>
館長	<p>奥むさし飯能観光協会のホームページにもアップされておりますので、そこから見ることができます。</p>
議長	<p>ほかに何かある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>来年度の特別展のテーマは町なかの歴史ということですが、現在町なかの商店街は大変苦しい状況となっております。どうか商店ともうまく連携して進めて欲しいです。</p>
館長	<p>ぜひそのように進めたいと考えています。</p>
議長	<p>長く飯能に住んでいても、特別展をやってみて初めて知る事や気が付くことがあります。特別展は良い機会なのでぜひお願いします。</p>
委員	<p>ヒロシマ・ナガサキの原爆資料を展示するとのことですが、ぜひ子どもたちが間近に見る機会を作って欲しいと思います。自分は生まれが島根なので、修学旅行で広島に行って原爆資料を見たのですが、その時の衝撃を今でも覚えています。</p>
館長	<p>市内小中学校については、全校に対してチラシを配りたいと思っています。で</p>

委員	<p>できれば近隣の自治体にも声掛けをしたいとも考えています。</p> <p>広島と長崎両方の資料が来るというのはめったにないことだと思うので、ぜひお願いいたします。</p>
会長	<p>他には何かございますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
会長	<p>なしと認めます。次に「(3) 博物館評価 (案) について」に進みたいと思います。では事務局から説明をお願いします。</p>
館長	<p>(3) 博物館評価 (案) について それでは「(3) 博物館評価 (案) について」ご説明いたします。 (資料に基づいて説明)</p>
議長	<p>何か質問やご意見はございますか。</p>
委員	<p>私は他館で10年くらい博物館評価をやっていましたが、その時は複数の評価項目を全て実施しており、評価を与えた理由についても全て考える必要がありました。与える評価を考えるだけで丸2日くらいかかり、そのあとで評価会を開催し、最終的な評価を決めていました。大変な作業量で、委員も館も相当苦勞しました。</p> <p>さらに別の館では、はじめは全項目を評価していたものの、作業があまりに大変で、ある年から何項目かピックアップして行う形に変更しました。評価のための評価になってしまわないようにした方が良いと思います。</p>
委員	<p>資料に掲載されている項目全てをやろうとすると、専任の職員が必要になってしまう分量だと思います。評価を実施しない、という選択肢は無いので、先ほど館長からお話があったように評価する項目をピックアップする方式が良いと思います。協議会の場で議論をすることになると委員の皆さまの負担も増えるため、1つの機能に重点を絞って行うのが良いのではないのでしょうか。</p> <p>展示の評価についてはやはり埼玉県内の同業者が良いと思います。そのために埼玉県博物館連絡協議会などがあるのではないのでしょうか。資料の貸借だけでなく互いの評価も相互扶助の一つだと考えていますので、やはりこのネットワークを使って第三者にお願いするのが良いと思います。</p> <p>また、良い評価がついたらそれなりの予算措置がなされるようになると良いと思います。逆に、悪い評価がついたからと言って予算が減らされるのは避けて欲しいです。</p>

委員	自分たちも博物館に普段来ているわけでは無いので、細かいところまで全て見て評価するというのは難しいと思います。
委員	資料を見た時に、正直「こんなにあるのか」と思ってしまいました。ほかの委員さんの話を聞いて、項目や分量を減らすということが良いと感じました。
議長	ではこの方向で進めるということで良いでしょうか。
館長	個別評価の方法を取っている博物館はあまり無いのですが、実効的な評価となるように皆様の意見を聞きながら進めていきたいです。
委員	外部評価というのは協議会のことでしょうか。
館長	はい、協議会のことです。年3回もしくは4回の協議会のうち、3月の協議会のときに評価項目を決め、次年度の3月の協議会で評価をしていただくという流れで進めたいと考えています。
議長	ほかには何かございますか。
委員	重点施策の評価項目の所は誰がつけているのでしょうか。
館長	当館で自己評価をして、その後部長と教育長のヒアリングを経て決まります。
委員	重点施策の達成率が95%にも関わらず評価がBというのはどういうことでしょうか。達成率に対して評価が低いように感じます。
館長	達成率と評価については基準が定められており、それに基づいて決定しています。
会長	ほかには何かございますか。 (なしの声あり)
会長	なしと認めます。次に、「(4) その他」について、事務局からは何かありますか。
委員	(4) その他 事務局からは令和元年度の実績について館報第2号を基に説明させていただきます。 (館報『きつとすレポート』第2号の内容紹介)

会長	
委員	以上の件について、ご質問などある方はいらっしゃいますか。
委員	博物館による SNS 発信についてですが、フェイスブックはこれからトレンドでは無くなるので、インスタグラムの方が良いと思います。文章よりも写真で発信していく必要があります。
委員	小中学校は、団体見学や出張授業についてはコロナ禍をかなり警戒しているのでしょうか。
委員	本校では既に博物館から出張授業に来ていただいています。
委員	中学校でも、出張授業は普通にやっています。ただし、学校から出かけるとなると、受け入れ先の問題があります。
館長	博物館では、団体見学の上限人数を15名としております。
委員	資料と共に学芸員が出張授業へ行くことの効果は高いと思いますが、コンタクトレスの流れを考えると、今後は資料だけ学校に送って学芸員はオンラインで授業、というのもありだと考えています。どこかの学校に協力してもらい、モデルケースを作ってみるのも良いのではないのでしょうか。
委員	中学生になればリモートによる授業も可能だと思いますが、小学校では本物の人間に来て欲しい、という部分があります。子どもたちも、画面よりも本物の人間からの方が受け取るエネルギーの方が大きいです。本物の人間の熱量を子どもたちは欲しがっています。中学生になると、人間からのエネルギーよりも知識を求める傾向も見られますので、リモートの可能性も広がると思います。
委員	確かにおっしゃるとおりではありますが、やはり変わらないといけないと思います。
委員	自分もリモートでやってみたことがありますが、こんなに意見も出せるのだと思いました。
議長	他に何かございますか。
議長	(なしの声あり)
議長	なしと認めます。以上で、本日予定した議事につきましては、全て終了い

<p>館長</p> <p>議長</p> <p>主査</p>	<p>たしました。進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>4 その他 事務局からは特にありませんが、何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>特に無いようですので「4その他」は以上といたします。</p> <p>7 閉 会 以上で、令和2年度第2回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">午前11時20分 閉会</p>
<p>議事の内容を、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	